

写



第3期  
熊本市北区まちづくり懇話会  
提言書

平成30年10月26日

熊本市北区まちづくり懇話会

# ■目次

1. 提言にあたって・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2. 北区の抱える課題について・・・・・・・・・・ 2
3. 課題解決に向けたまちづくりの方針について・・・・ 2
4. まちづくりの方針に基づく具体的取組の提案・・・・ 3

## 【資料】

第3期 熊本市北区まちづくり懇話会委員一覧  
・・・・・・・・ 6

平成29・30年度 北区まちづくり懇話会開催経過  
・・・・・・・・ 7

# 1. 提言にあたって

第3期北区まちづくり懇話会では、第1期、第2期の北区まちづくり懇話会での意見や地域の現状などの情報を共有した上で、「北区の抱える課題」「課題解決に向けたまちづくりの方針」「まちづくりの方針に基づく具体的取組」について協議を行ってきました。

また、懇話会では、今後の北区のまちづくりを担っていく大学生や高校生にも参加いただいて、懇話会委員と学生と一緒にワークショップ形式で活発な意見交換を行いました。

私は、懇話会でグループに分かれてワークショップを開催する際には、「1つのテーブル＝1つのまち」だと考え、会議の進行を行ってきました。そこには、住んでいる環境・年齢・性別・仕事・考え方といった事情や背景が違う人が集まっており、小さな地域コミュニティと考えることができるからです。このグループで北区をもっといいまちにするにはどうしたらいいのかということを一生涯懸命に話し合いました。

まちづくりにはこうやれば絶対上手くいくという正解のようなものはないものの、自分たちで考え出したアイディアをもとに、具体的な取組として提案されたものを提言書としてまとめました。

本提言書に記載した、課題解決に向けたまちづくりの方針および必要な取組については、懇話会の意向を尊重し、「ず～っと住みたい！“わがまち北区”」の実現に向け、取り組んでいただきたいと思います。

平成30年10月26日

熊本市北区まちづくり懇話会  
会長 石橋 敏郎



## 2. 北区の抱える課題について

懇話会で話し合う中で見えてきた北区の課題とその対策の方向性は次のとおりです。

- 課題：若い世代の参加が少ない。つながりの輪が広がらない。  
(対策の方向性：イベント通して繋がり輪を広げる)
- 課題：笑顔で対話する機会が少ない。  
(対策の方向性：良好なコミュニティ形成には「笑顔」が必要)
- 課題：一部で高齢者のみが集まるサロンや見守りに関する講座等の開催はあるが、実際の見守り活動は不十分。  
(対策の方向性：高齢者の見守りは積極的に進める)
- 課題：子育て世代は健康意識が疎かになりがち。子育ての情報共有の拡充。  
(対策の方向性：子育て世代などの若い世代の健康づくりや情報交換の場の充実)
- 課題：リーダーの単一化、高齢化、担い手不足。  
(対策の方向性：地域のリーダーシップをとれる人材の育成が必要)
- 課題：情報共有のツールがない。  
(対策の方向性：若い世代を取り込み、多世代、地域間の情報共有のためSNSを活用)

## 3. 課題解決に向けたまちづくりの方針について

2. の課題及びその対策の方向性としてあげられたものを検討し、課題解決に向けたまちづくりの方針として、次の2つが導き出されました。

### 方針1

『誰もが楽しく集い、『笑顔』が広がる「場」の創出』

- イベントを通して繋がり輪を広げる
- 良好なコミュニティ形成には「笑顔」が必要
- 地域のリーダーシップをとれる人材の育成が必要
- 若い世代を取り込み、多世代、地域間の情報共有のためにSNSを活用

### 方針2

『健康の大切さを知り、お互いを思いやり支え合う気持ちの醸成』

- 高齢者の見守りは積極的に進める
- 子育て世代などの若い世代の健康づくりや情報交換の場の充実
- 地域のリーダーシップをとれる人材の育成が必要
- 若い世代を取り込み、多世代、地域間の情報共有のためにSNSを活用

めざす区の姿

ず〜っと住みたい “わがまち北区”

## 4. まちづくりの方針に基づく具体的取組の提案

2つのまちづくり方針について、それぞれ具体的な取組を検討し、次のような提案がなされました。

### 提言 1

#### 方針 1

『誰もが楽しく集い、『笑顔』が広がる「場」の創出』

現状・課題	2019年には熊本で「女子ハンドボール世界選手権大会」と「ラグビーワールドカップ」開催され、また、2020年には東京でオリンピックが開催される。 しかし、開催される大会の競技に触れたことがなく、ルールを知らない市民も多いことが課題。
課題解決への方向性	スポーツイヤーに向け、開催される大会のスポーツ・競技を知る、体験ができる機会を作る必要がある。スポーツや大会への関心が高まることで、北区・熊本市全体で大会を盛り上げ、賑わいの創出につながる。
提案内容	年齢に関係なく初心者が集まり、これまで経験したことのないスポーツ・競技が体験できる場を設ける。
効果	新しいスポーツ・競技を体験し、ルールや選手などを知ることにより、その競技に興味や関心を持ち、応援へつながる。また、スポーツ・競技を体験することで、多世代交流・地域間交流ができるとともに、健康増進にもつながる。



### 方針1

#### 『誰もが楽しく集い、『笑顔』が広がる「場」の創出』

<p>現状・課題</p>	<p>本格的な人口減少社会を迎える中で、若い世代の人口流出や地域活動の担い手が不足しているという課題がある。 特に若い世代については、北区を知り、北区に愛着を持つことで、将来にわたって北区に住み続ける市民を増やすことが必要。</p>
<p>課題解決への方向性</p>	<p>北区には有名な企業・会社が在るものの、こういった会社であり、その会社がどのような事業を行っているのかを知らないことが多い。地域にある会社や人を知ること、地域のことをよく知り、愛着を持つ市民を増やす。</p>
<p>提案内容</p>	<p>北区に住む市民が、親子や祖父母・孫のペアなどで、北区にある企業・会社を見学するツアーを実施する。</p>
<p>効果</p>	<p>地域にある企業のことをよく知ることで、企業や地域への愛着が湧いてくる。また、地域で作られた産品・製品への消費にもつながり、企業の売り上げにも貢献する。</p>



方針2

『健康の大切さを知り、お互いを思いやり支え合う気持ちの醸成』

<p>現状・課題</p>	<p>熊本地震を経験し、「おたがいさま」で支え合う協働によるまちづくりの重要性を改めて認識された。          同じ地域に住んでいても顔を知らず、挨拶をしない状況にあるため、今後も住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、地域に暮らす住民同士が日頃から「顔見知り」の関係を築く必要がある。</p>
<p>課題解決への方向性</p>	<p>地域においてお年寄り同士、子ども同士の交流の場はあるものの、世代を超えた交流・活動の場が少ないため、子どもからお年寄りまで、また民生委員や地域の団体の人など誰でも集まる場を作る。</p>
<p>提案内容</p>	<p>地域の施設や商店等を利用して、世代を超えていろいろな人が集まる場所・機会を作る。また、人生経験豊かな高齢者の指導のもと、子どもや若い人たちに農業やものづくりを体験してもらう。</p>
<p>効果</p>	<p>高齢者や子どもにとって新たな「居場所」となる。また、多世代で会話・体験することで心も体も健康になる。さらには、地域で顔見知りが増え、挨拶の出来る関係が構築される。</p>



	分野	(役職:所属)	氏名	
1	学識経験者	熊本大学 シニア教授	石橋 敏郎	
2		熊本保健科学大学 地域包括連携医療教育研究センター 教授	竹熊 千晶	
3	福祉(高齢)	3地域包括支援センター管理者	下出 さゆり	
4	福祉(子ども)	北部東校区子育てネットワーク 代表	松野 はるみ	
5	福祉(ボランティア)	社会福祉協議会 北区事務所長	坂田 治之	
6	働く女性	KMバイオロジクス株式会社 総務人事部 総務管理課	石村 美生見	
7	防犯、防災	一般社団法人 スタディライフ熊本 理事	水野 直樹	
8	商工業	熊本市植木町商工会 会長	入江 雄二	
9	農業	植木町地域認定農業者協議会 会長	原口 真継	
10	校区自治協議会推薦	植木地域代表	山本校区自治協議会 会長	境 俊次
11			熊本県レクリエーション協会 副会長	上野 祥子
12		北部地域代表	北部地区公民館連絡協議会 副会長	平野 久美子
13		清水地域代表	清水地域コミュニティセンター運営委員会 会長	溜瀨 勝徳
14			高平台校区青少年健全育成協議会 会長	小柳 高子
15		龍田地域代表	楡木校区社会福祉協議会 会長	小仲 邦生
16			龍田西校区女性の会 副会長	松嶋 令子
17		公募委員	農業	村上 智弘
18	理学療法士		吉橋 謙太郎	





	開催日	内容
第1回	平成29年 5月30日（金）	(1) 報告事項 ・区における自主自立のまちづくりについて (2) 審議事項 ・北区まちづくり懇話会の進め方について
第2回	平成29年 8月4日（金）	(1) 第1期、第2期まちづくり懇話会の意見内容について (2) まちづくりセンターの活動状況等について (3) 北区管内で地域担当職員に寄せられた要望相談について
第3回	平成29年 10月25日（水）	(1) 分野の意見交換会（ワークショップ形式） ①防犯・防災、地域づくり ②健康、福祉、文化、スポーツ ③経済・農業、賑わいづくり ④環境・景観、都市づくり
第4回	平成30年 5月15日（火）	(1) 「まちづくり方針」の提案について (2) 北区の課題解決に向けた取組について （ワークショップ形式）
第5回	平成30年 8月10日（金）	(1) 北区の課題解決に向けた具体的取組について ・必要な取組のタイトルについて ・必要な取組の実現に向けて
第6回	平成30年 10月26日（金）	第3期熊本市北区まちづくり懇話会提言書の提出

